

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU-R部会  
地上業務委員会(第5回) 議事概要(案)

1 開催日時

平成21年4月22日(水)14:00~16:50

2 場所

総務省 10階 共用会議室2

3 出席者(敬称略、順不同)

[構成員]

高畑 文雄(主査)、足立 朋子、飯塚 留美、阪田 史郎、佐藤 明雄、佐藤 孝平、  
土田 敏弘、中村 勝英、橋本 明

[説明者]

有本 好徳、小山 敏、西森 健太郎、古川 恵太、吉野 仁

[事務局]

坂中移動通信企画官、西室係長、江原官(以上、移動通信課)

広瀬係長、若松官(以上、衛星移動通信課)

梶原課長補佐、片山係長(以上、基幹通信課)

4 配付資料

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 資料地-5-1 | 地上業務委員会(第4回) 議事要旨(案)              |
| 資料地-5-2 | ITU-R SG5 関連会合報告書(案)              |
| 資料地-5-3 | ITU-R SG5 第2回会合報告書                |
| 資料地-5-4 | ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書(案)         |
| 資料地-5-5 | ITU-R SG5 入力文書の採択の可否について          |
| 資料地-5-6 | ITU-R SG5 関連会合への対処方針(案)           |
| 資料地-5-7 | ITU-R SG5 関連文書の承認の可否について          |
| 資料地-5-8 | ITU-R JTG5-6 会合報告書(案)             |
| 資料地-5-9 | ITU-R JTG5-6 会合への対処方針(案)          |
| 参考資料1   | ITU-R SG5 関連会合の開催案内(WP5A, 5B, 5C) |
| 参考資料2   | ITU-R SG5 会合の開催案内                 |
| 参考資料3   | ITU-R SG5 関連会合の日本代表団一覧            |
| 参考資料4   | ITU-R JTG5-6 会合の開催案内              |
| 参考資料5   | 地上業務委員会 構成員名簿                     |

## 5 議事概要

### (1) 地上業務委員会(第4回)議事概要について

#### 【資料地5-1】

地上業務委員会(第4回)議事概要(案)について、特段の意見なく承認された。

### (2) ITU-R SG5 関連会合の報告について

#### 【資料地5-2】

事務局より、平成20年10月に開催されたWP5A、WP5B及びWP5C第2回会合の報告があり、特段の意見なく承認された。また、事務局より平成21年2月に開催されたWP5D第4回会合の報告があった。

### (3) ITU-R SG5 第2回会合の報告について

#### 【資料地5-3】

事務局より、平成20年11月に開催されたSG5第2回会合の報告があった。

### (4) ITU-R SG5 関連会合への日本寄書(案)について

#### 【資料地5-4-1～資料地5-4-5】

古川氏より、PDNReport.M [RLS 3-50MHz SHARING]作成に向けた作業文書(3-50MHzバンドにおける既存サービスシステムの特性と混信保護基準)に関する寄与文書案(資料地5-4-1)、PDNReport.M [RLS 3-50MHz SHARING]作成に向けた作業文書(GRWAVEの指向性海洋レーダーへの適用について)に関する寄与文書案(資料地5-4-2)、PDNReport.M [RLS 3-50MHz SHARING]作成に向けた作業文書(空間的分離距離に基づく共存条件検討方法)に関する寄与文書案(資料地5-4-3)、WP5A,5C,6A,7B,7Dに対するリエゾン文書案(3-50MHz帯におけるサービスの混信保護基準)に関する寄与文書案(資料地5-4-4)及びWP3Lに対するリエゾン文書案(GRWAVEの指向性海洋レーダーシステムへの適用)に関する寄与文書案(資料地5-4-5)について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

#### (質疑応答)

橋本 構成員：資料地5-4-1の寄与文書概要案には、3-50MHz帯の無線利用を共用検討の優先度に応じて3つのカテゴリーに分ける提案文書が第2回WP5Bへ提出されたとあるが、同資料の寄与文書案1ページ17～18行目に記載されている5つのサブバンド全体を統括してカテゴライズしているのか。

古川氏：否。サブバンド内をさらに細分化したものをカテゴライズしている。

橋本 構成員：それぞれのサブバンド内をさらに優先度(A,B,C)に分けるとのことだが、WP5Bではどのような議論になっているのか。

古川氏：フランスからの寄与文書で、まずサブバンド内で優先度を分けた後、共用検討が必要な対象を絞りこむという提案があったが、現在は作業文書に取り込まれているわけではなく、Noteとして記載されている。

橋本 構成員：優先度(A,B,C)に分けることが提案されているとのことだが、日本としては考慮しないのか。

古川氏：優先度を分ける前に、サービスごとに共用が可能かという大きな議論を先に決めるべきだと考えている。議論の順番も含めた提案である。

橋本 構成員：優先度(A,B,C)を先に決めるべきでは無いとの意見を記載していないようだが、作業の延期等を考慮してあえて触れていないのか。

古川氏：然り。

#### 【資料地5-4-6】

橋本構成員より、Document 5/114に記載されたWorking Party 5A所管またはWP5A・5C共同所管となるF-series勧告の見直しに関する寄与文書案について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

#### 【資料地5-4-7】

橋本構成員より、旧WP9Dで策定された勧告の見直しに関する寄与文書案について説明が行われ特段の質疑なく承認された。

#### 【資料地5-4-8】

橋本構成員より、Document 5/114に記載されたWorking Party 5C所管となるF-series勧告の見直しについて説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

#### 【資料地5-4-9】

橋本構成員より、Document 5/114に記載されたSF-series勧告の見直しについて説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

#### 【資料地5-4-10】

橋本構成員より、勧告ITU-R F.1249 及びITU-R F.1509 の暫定改訂提案について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

#### 【資料地5-4-11】

有本氏より、レポートITU-R F.2106(空間光通信を用いた固定業務の利用)に対する修正提案について説明が行われ、エディトリアルな修正を施した後、承認された。主なやり取りは以下のとおり。

(質疑応答)

高畑 主査 : 電波法は、3THzまでを取り扱うが、ITUでの光の扱い如何。

事務局 : ITU-Rの方でも将来的な検討事項として、3THz以上の研究も行っている。  
日本の研究開発の結果等をITU-Rへ寄与文書を入力している。

橋本 構成員: 次回のWRC-11の課題の1つに 3THz以上のRegulationの扱いに関する  
議題がある。どういうアプリケーションがあるかや各国の導入状況等を調べている最中である。

【資料地5-4-12】

西森氏より、勧告F.1336(P-MP方式用アンテナ基準放射パターン)の改定案について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

【資料地5-4-13】

橋本構成員より、勧告ITU-R F.1244(無線LAN)の削除について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

【資料地5-4-14】

小山氏より、ITU-R勧告M.1310「ITSの目的と要件」の改訂提案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

土田 構成員: 寄与文書案3ページの29行目のITU-R勧告M.1452 のタイトル内にTICS  
という古い用語が使われているが、ITSという用語へ修正するという寄与  
文書も必要ではないか。

小山 氏 : 然り。今後、検討する。

佐藤(孝) 構成員: 冒頭の説明で、新規勧告とすることも念頭にいれてあったが、新規勧告する  
という議論になった場合、今の勧告はクローズするのか。

小山 氏 : 然り。

橋本 構成員: 既存の勧告M.1310から必要な情報は、新規勧告に盛り込む必要がある。

【資料地5-4-15】

西森氏より、DNQ[LMS.SAC]/5の提案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本 構成員: 寄与文書案の2ページ目のアタッチメント修正履歴が入った記述があるが、

前回の議長報告に関して修正を入れているものなら、editor's noteなどにその旨を記載したらどうか。

西森氏 : 了。

【資料地5-4-16】

西森氏より、DNQ [LMS.SAC]/5に対する勧告作業文書の提案について説明が行われ、エディトリアルな修正を施した後、承認された。

【資料地5-4-17】

吉野氏より、コグニティブ無線の研究に関する、WP1Bへの回答案の提案について説明が行われ、エディトリアルな修正を施した後、承認された。

【資料地5-4-18】

吉野氏より、PDNレポート”陸上移動業務におけるコグニティブ無線”の作業文書の改訂提案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

佐藤(明)構成員: レポートということだが、将来は勧告化するのか。

吉野氏 : まずはコグニティブについて学習するためにレポートを作成している。レポートの中で課題があれば、勧告化するという流れである。

飯塚構成員: コグニティブパイロットチャネルに関する議論はどうなっているのか。

吉野氏 : WRC-07の新議題設定の議論の中で、コグニティブパイロットチャネルに周波数割当を行うという議論は拙速だという結論になっており、まずはWRC-11で、コグニティブ無線について明らかにすることになった。コグニティブパイロットチャネルについて、本レポートに記載するかどうかについては、今のところ議論は無い。

土田構成員: 例えば、GSMとW-CDMAのデュアルモード端末は、コグニティブ無線か。

吉野氏 : 定義をしっかりと決めないと、フィードバック機能があるものは、全てコグニティブ無線となってしまう。その定義を現在決めているところ。

(5) ITU-R SG5 入力文書の採択の可否について

【資料地5-5】

事務局より、ITU-R SG5 入力文書の採択の可否(案)について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(6) ITU-R SG5関連会合への対処方針(案)について

【資料地5-6】

事務局より、ITU-R SG5関連会合への対処方針(案)について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(7)ITU-R SG5 関連文書の承認の可否について

【資料地5-7】

事務局より、ITU-R SG5 関連文書の承認の可否(案)について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(8)ITU-R JTG5-6 会合の報告について

【資料地5-8】

事務局より、平成20年11月に開催されたJTG5-6第2回会合の報告があった。

(9)ITU-R JTG5-6 会合への対処方針(案)について

【資料地5-9】

事務局より、ITU-R JTG5-6 第3回会合への対処方針(案)について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(10)その他

【参考資料1、2、3、4、5】

事務局より、参考資料について説明があった。

外国寄与文書の対処については対処方針の通りとし、特に審議が必要と思われるものについては、主査との相談又は地上業務委員会でメール審議をお願いする旨、事務局から説明が行われた。併せて、承認された寄書について、今後他国との調整等により趣旨を変えない範囲で共同寄書とする等、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

最後に高畑主査から、今後も寄与文書を提出するなど、日本の国際競争力をより高めて頂きたいとのコメントがあった。

以上